



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒

〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和5年1月20日（金）

第37号

発行責任者

校長 志賀 嘉津美

電話 22-3802

中学校生活最後の定期テスト

1月17日（火）・18日（水）の2日間、3年生にとって中学校最後の定期テストとなる学年末テストが実施されました。1年生の中間テストから数えて15回目の定期テストです。先週は実力テストが行われ、24日（火）は南相馬市学力テスト（全学年）が行われます。1月は、テストが多くて大変という印象がありますが、3年生の中にはこれを負担と感じるのではなく、3月3日の前期選抜学力検査に向けての予行練習と捉え、「残り少ないテストの機会を大切にしていきたい。」と考えている生徒もいるようです。さすがは3年生、さすが受験生と関心しました。

福島県立高等学校入学選抜の前期選抜まで約1か月半となりました。卒業までの残された期間、原町三中でのすべての活動が充実するよう、引き続き支援していきたいと思えます。

なお、1・2年生の学年末テストは、2月13日（月）と14日（火）の予定です。また、明日21日（土）は新入生オリエンテーションがあり全校生徒登校日となります（お弁当をお忘れなく！）。23日（月）は、その繰替休業日となりますので、24日の市学力テストに向けて計画的に準備を進めてほしいと思えます。



南相馬市バドミントン協会長杯

1月15日（日）、南相馬市バドミントン協会長杯がまるさん・あったまるアリーナで開催されました。本大会は、これまでの大会出場の経験や実績からクラスを選択し、男女が混じって試合に出場することができる大会です。本校生徒の主な成績は以下の通りです。

○Bクラス：ダブルス

第2位 佐藤さん（3年）・山下さん（2年）ペア

○Dクラス：ダブルス

第2位 田中さん（2年）・八津尾さん（1年）ペア



写真は冬休み中の練習の様子です

今年も同窓会からご寄贈をいただきます



1月13日（金）同窓会役員会が開催されました。今回の役員会は、3月に発行予定の同窓会報と3月9日に行われる同窓会入会式についての話し合いが行われました。また、各地区の評議員を含めた役員改選についても協議をしました。本年度も、新たに同窓会に入会する20名の卒業生への「卒業記念品」と運動部や文化部の活動で県大会以上の成績を記した「栄光の記録プレート」を寄贈していただくことになりました。

他にも、同窓会からは部活動や学校行事の運営に関わる母校協力金も頂戴し、支援していただいております。同窓会及び地区の皆様にご感謝申し上げますとともに、原町第三中学校の卒業生であることを誇りに思っただけのような学校づくりを行っていききたいと思います。

※ 裏面に、「学校評価の結果について」を掲載しております。

学校評価の結果 2/3

◎12月に実施した「学校評価」の結果を、3回に渡ってお知らせしています。今回は、2回目になります。

2 豊かな人間性を育てます

2(1)道徳教育を充実させ、思いやりの心や目標に向かってやり抜く態度を育てます 保護者 生徒 教職員 0% 50% 100% ■あてはまる ▨どちらか ■あまり □あてはまらない □よくわからない	全 体 3.6 保護者 3.3 生 徒 3.5 教職員 3.9	育てたい道徳性（思いやりの心）を明確にして、道徳授業を重視し、「考え、議論する道徳」を進めてきました。学級通信でも、積極的に授業の様子を掲載しています。保護者や地域の方にも、道徳の授業を公開し、家庭や地域社会との相互の連携を図ることにします。
2(2)ふるさと南相馬に対する誇りや愛情を持って成長できるように地域のかかわり合う学習を推進します 保護者 生徒 教職員 0% 50% 100% ■あてはまる ▨どちらか ■あまり □あてはまらない □よくわからない	全 体 3.4 保護者 3.2 生 徒 3.5 教職員 3.5	ふるさと教育と道徳教育を融合した「至誠学（まごころ学）」を推進しています。総合的な学習の時間では、地域の資源や人材を活用した学習を行いました。次年度も、地域で活躍されている方々からお話をお聞きする機会を多く持ちたいと思います。
2(3)自己肯定感や他者肯定感を育てる生徒指導に努めます 保護者 生徒 教職員 0% 50% 100% ■あてはまる ▨どちらか ■あまり □あてはまらない □よくわからない	全 体 3.4 教職員 3.8 生 徒 3.4 保護者 3.2	「次はどうすればいいか考えよう」「また頑張ろう」など、次につながる前向きな言葉かけで生徒の自己肯定感が高まります。今後も、小規模校であることの強みを生かし、生徒一人一人が活躍できる機会を多く設定したいと思います。ご家庭でも、お声かけをよろしくお願いします。
2(4)いじめ・不登校の未然防止に努め早期発見・迅速で丁寧な対応を行います 保護者 生徒 教職員 0% 50% 100% ■あてはまる ▨どちらか ■あまり □あてはまらない □よくわからない	全 体 3.5 保護者 3.2 生 徒 3.5 教職員 3.9	教育相談、QUテスト（生徒支援・学級づくりのためのアンケート）、いじめ調査等により、生徒の変容について早期発見・早期対応に努めました。学校からの一方通行ではなく、生徒・保護者の心配事を受け止められているか、適切に機能しているかなどを随時確認していきます。
2(5)自らの生き方を考えるキャリア教育を推進します 保護者 生徒 教職員 0% 50% 100% ■あてはまる ▨どちらか ■あまり □あてはまらない □よくわからない	全 体 3.6 保護者 3.4 生 徒 3.5 教職員 3.8	職場体験学習、福祉体験学習、上級学校訪問、ロボットテストフィールド等での見学・体験学習などを通して、地域理解と働くことの意義について考える機会となりました。今後も視野を広げ、新しい価値観に触れながら進路・将来の生き方を考えるような機会を大切にします。

※ 評価は、4:あてはまる、3:どちらかといえばあてはまる、2:あまりあてはまらない、1:あてはまらない、△:よくわからないで回答していただきました。「よくわからない」については、評価点には入っておりません。